

# 世界銀行東京事務所 ニュースレター

2021年8月号



## 最近の取り組み

### 世界銀行グループ、2021年度の財務諸表を発表

8月5日、世界銀行グループ理事会は2021年度の監査済み財務諸表を承認しました。2021年度のコミットメント総額の大部分は、新型コロナウイルス感染症による保健・経済への影響に関連する施策に充てられました。世界銀行グループのコミットメント総額は、2020年度を15%上回る843億ドルに増えました。

### 「途上国を対象とした新型コロナウイルス感染症のワクチン、治療薬、診断法のためのタスクフォース」の第2回会合に関する国際機関の代表による共同声明

7月30日、ワクチン・プログラムが順調に進んでいる国には、できるだけ多くの調達済みワクチンと追加購入オプション分を、COVAX、アフリカワクチン入手トラスト（AVAT）、低所得国・低中所得国に回すよう要請する声明が発表されました。

### COVAXと世界銀行が途上国におけるワクチン普及を加速

7月26日、COVAXと世界銀行は、Gaviが新たに設計したワクチン事前買取制度（AMC）のコスト共同負担制を活用した新しい資金調達メカニズムを通じて、途上国向けの新型コロナウイルス感染症ワクチンの供給を加速します。参加する途上国は、ワクチンを確保し、接種計画をより効果的に準備・実施することが可能になります。

## プロジェクト紹介

- チャド：保健へのアクセスと質を改善（8月6日理事会承認、IDAから9,000万ドル）
- ラオス：ラオスの森林・景観の管理や自然資本保護（8月5日承認、IDAから5,700万ドル）
- パキスタン：シンド州の脆弱なコミュニティに向けた早期学習支援（7月29日承認、IDAから1億ドル）

## セミナー情報

### IFC キャリアセミナー（2021年9月10日）

2019年入社でニューデリー事務所に勤務する吉江奏太 アソシエイト・インベストメント・オフィサーが、自身の経歴やIFCの活動、南アジア地域における製造業、アグリビジネス、サービス分野での投資業務についてご紹介します。オンラインによる実施（ウェビナー）となります。

### 世界銀行モーニングセミナー（第114回）「危機に瀕する雇用：新型コロナウイルス感染症後のラテンアメリカにおける質の高い仕事への道」（2021年8月6日）

ジョアナ・シルヴァ世界銀行ラテンアメリカ・カリブ海地域担当チーフエコノミスト室上級エコノミストがラテンアメリカの雇用に関する報告書の主なポイントを、ワシントンより日本の皆様に向けてオンラインでご説明しました。

## 採用情報

### 2021年 世界銀行グループ リクルートミッション（9月1日募集開始）

世界銀行グループは、今年も日本人を対象としたリクルートミッションを実施いたします。各ポジションの詳細および募集要項は9月1日以降、ウェブサイトに掲載いたします。

## 日本人職員紹介

### 佐藤健明世界銀行 環境・自然資源・ブルーエコノミーグローバルプラクティス 上級環境専門官

2013年より世界銀行勤務。新潟県村上市出身。立命館大学政策科学部卒業。日系環境コンサルティング会社にて地方自治体の環境計画や廃棄物処理計画の策定、廃棄物処分場の戦略的環境アセスメント業務等に従事。その後、ミシガン大学自然資源環境学大学院にて理学修士（自然資源計画）及び空間分析サーティフィケートを取得。



## 東京防災ハブの活動

### 報告書「フロントライン（Frontline）：ショックに備えた保健医療システムの構築」発表（2021年4月12日）

世界銀行が新たに作成した報告書フロントライン『Frontline』では、季節的な医療需要の急増やパンデミック、気候変動、災害などさまざまなショックへの備えを強化した保健医療システムを整備していくための提言を行っています。田部真史 財務省国際局開発機関課長は、「新型コロナウイルス感染症のパンデミックからの復興段階では、パンデミックの経験をもとに、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを実現することで将来の緊急事態への備えを強化する必要があります。自然災害に対する強靭性に関連する知見は、ビルド・バック・ベター（より良い復興）やパンデミックに対する事前準備の拡充において役立ちます。こうした観点から、グローバル・ヘルスの取り組みと防災の連携は今まで以上に重要となってきました」と述べています。

## 東京開発ラーニングセンター（TDLC）の活動

### セミナー「環境に優しく包摂的な廃棄物管理」（2021年7月14日）

エネルギー効率の良い廃棄物管理の事例や新たな取り組みは何か？野心的な削減目標の達成のためにどのような政策が必要か？といった問いかけから、北九州市環境局からのご登壇者も交え、環境に優しく包摂的な廃棄物管理のグッドプラクティスや新たな取り組みを探りました。

## 編集後記

### 日本が世界銀行から貸出を受けたプロジェクト

1958年8月18日、世界銀行は神戸製鋼に対して日本開発銀行経由で1000万ドルの貸出を行いました。日本の鉄鋼業はその後も急成長し、1960年には粗鋼生産でフランスを抜いて世界第5位の地位にまでなりました。

（編集：世界銀行東京事務所 開 裕香子）

